

テスラ(TSLA)

【セクター】 一般消費財・サービス

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

2003年にカリフォルニア州パロアルトで創業した米国の電気自動車メーカーです。高級セダンの「モデルS」、SUVの「モデルX」、17年に投入した普及価格のセダン「モデル3」を製造販売するほか、コンパクトSUVの「モデルY」、トラックの「セミ」などの計画も公表されています。バッテリーは、パナソニックの技術協力によります。世界25か国に300以上の店舗を展開、売上の約7割が米国です。16年に太陽光発電のソーラーシティ社を買収、同事業は売上の7%を占めています（18年12月期）。

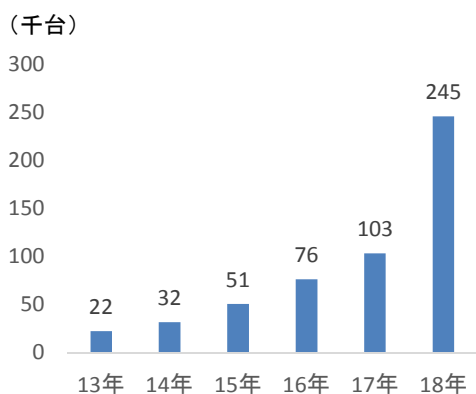
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	11,759	-1,835	-11.07	0.00	25.1	-43.6	19.7
18年12月期	21,461	-869	-5.10	0.00	28.5	-21.3	21.2
19年12月期予想	24,376	-316	-1.81	0.00	38.6	-5.4	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

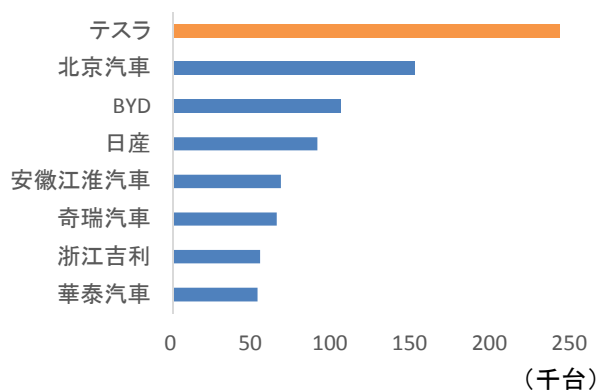
【主要指標】

図表1 テスラの自動車販売台数



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 電気自動車の販売台数上位企業（18年）



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

【会社の見方】

電気自動車の販売台数では世界最大、特に高級な電気自動車では、圧倒的な人気となっています。ただ、BMW、メルセデス・ベンツなどブランド力もある世界の大手自動車メーカーが電気自動車への注力を表明しているため、同社の競争力をいかに確保していくかは課題と考えられます。電気自動車市場で世界最大の中国では、上海市に米国以外で初の工場建設を進めており、年内の稼働を目指しています。将来的には同工場で年間50万台の生産を計画しています。

【見通し・注目点】

7-9月期決算は、0.24ドルの赤字と予想されていたEPSが1.86ドルの黒字となってポジティブサプライズとなりました。自動車部門の粗利率（税制優遇を除く調整後）はコスト削減が効いて22.8%となり、一時的要因もあって低下していた4-6月期の18.9%、1-3月期の20.2%から大幅な改善となりました。販売台数は前年同期比20%増となる一方、価格が低い「モデル3」の比率が高まったため、自動車部門の売上は同12%減にとどまりました。米国売上が同39%減少となって、長期的な販売拡大に懸念を抱かせるものとなっています。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/10/30)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。